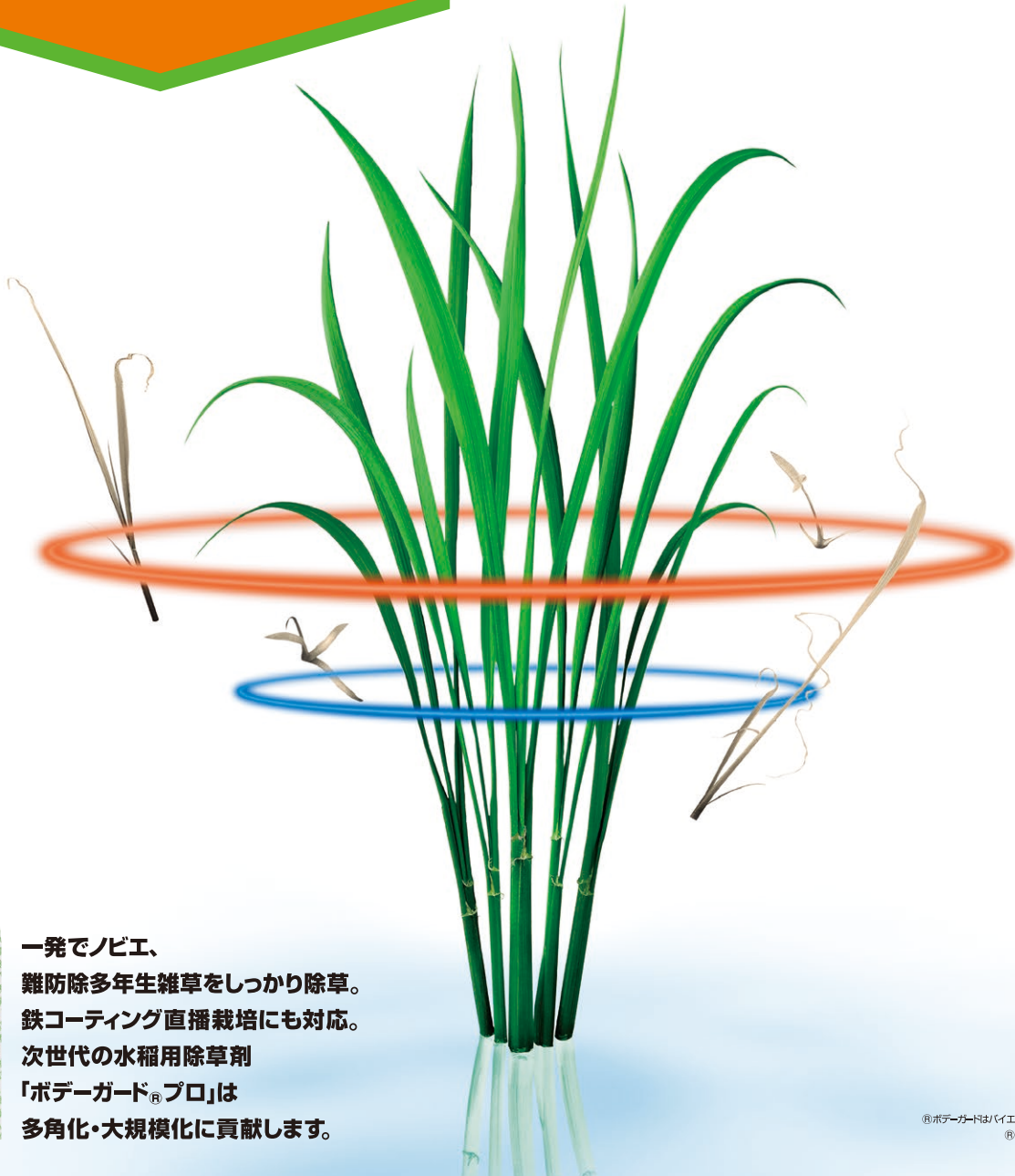




# ボデーガード<sup>®</sup>プロ

## 1キロ粒剤

2成分で稲を守る。プロ。  
高葉齢ノビエも難防除雑草も、的確に防除。



一発でノビエ、  
難防除多年生雑草をしっかり除草。  
鉄コーティング直播栽培にも対応。  
次世代の水稲用除草剤  
「ボデーガード<sup>®</sup>プロ」は  
多角化・大規模化に貢献します。



®ボデーガードはバイエルグループの登録商標 第3257069号  
®ジャンボは登録商標 第2702970-1号

幅広い殺草スペクトラムで、ノビエ、SU抵抗性雑草(コナギ、ホタルイ、アゼナ類など)、  
難防除多年生雑草(クログワイ、オモダカ、コウキヤガラ)に有効です。



ノビエ

コナギ

ホタルイ

クログワイ

オモダカ

コウキヤガラ

キシュウスズメノヒエ



## ボデーガード<sup>®</sup>プロの特長

### ■ 2成分で高い除草効果

テフリルトリオンと新規成分トリアファモンの2種混合の初・中期一発処理除草剤で、幅広い草種に対して高い除草効果を示します。

### ■ ノビエへの優れた効果

高葉齢のノビエに対する枯殺力が高く、また、長期残効性を有します。

### ■ 難防除多年生雑草への高い効果

クログワイ、オモダカ、コウキヤガラに高い除草効果・塊茎形成抑制効果を示します。効果持続性が長く、通常の圃場条件では1回の散布で雑草を防除することができます。

### ■ 特殊雑草にも有効

アシカキ、エゾノサヤマカグサ、キシウスズメノヒエ等の多年生イネ科雑草やクサネム、イボクサ等の特殊雑草にも有効です。

### ■ 水稲に対する安全性が高い

水稲に対して優れた選択性を有し、通常の圃場条件下で安心して使用できます。

### ■ 直播水稲に適した薬剤性能

直播水稲（鉄コーティング直播栽培含む）において、本剤は効果・安全性ともに優れ、1キロ粒剤はは種時からノビエ3.5葉期まで、フロアブルはは種直後からノビエ3.5葉期まで、ジャンボ<sup>®</sup>がイネ1葉期からノビエ3葉期までの幅広い散布時期で余裕をもって使用できます。

## 適用雑草と使用方法

（2019年2月現在の登録内容）

作物名	適用雑草名	使用時期	10アール当り 使用量	使用回数*	使用方法
移植 水稲	水田一年生雑草 および マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ ウリカワ クログワイ オモダカ ヒルムシロ セリ コウキヤガラ エゾノサヤマカグサ シズイ キシウスズメノヒエ	移植時	1kg	本剤 1回  テフリルトリオン 2回  トリアファモン 2回	田植同時散布機で施用
		移植直後～ノビエ3.5葉期 ただし、 移植後30日まで			湛水散布 または 無人航空機による散布
直播 水稲	水田一年生雑草 および マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ	は種時	1kg	本剤 1回  テフリルトリオン 2回  トリアファモン 2回	は種同時散布機で施用
		は種直後～ノビエ3.5葉期 ただし、 収穫90日前まで			湛水散布 または 無人航空機による散布

\*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農業の総使用回数の制限を示します。

## 注意事項

■ 使用量に合わせ秤量し、使いきって下さい。

■ 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、ノビエの3.5葉期までに、時期を失ないように散布して下さい。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布するようにして下さい。ホタルイは4葉期まで（直播水稲では2葉期まで）、ヘラオモダカ、ミズガヤツリ、ウリカワは3葉期まで、クログワイは発生前から草丈10cmまで、オモダカは発生前からへら葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前から再生始期まで、コウキヤガラは発生始期から草丈30cmまで、エゾノサヤマカグサは3葉期まで、シズイは草丈3cmまで、キシウスズメノヒエは再生始期までが本剤の散布適期です。クログワイ、オモダカ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のものまでは、十分な効果を示さないため、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用して下さい。

■ 散布の際は、水の出入りを止めて十分な湛水状態（水深3～5cm）のまま、まきむらが生じないように均一に散布して下さい。また、極端な浅水や深水での使用はさけて下さい。

■ 無人航空機で散布する場合は、次の注意を守って下さい。

- ① 散布は使用機種の使用基準に従って実施して下さい。
- ② 専用の粒剤散布装置によって湛水散布して下さい。
- ③ 事前に薬剤の物理性に合わせて粒剤散布装置のメタリング開度を調整して下さい。
- ④ 散布薬剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該水田周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整し、圃場の端から5m離れた位置から圃場内に散布して下さい。
- ⑤ 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意して下さい。

■ 直播水稲のは種時に通常の湛水状態より水を落として散布する場合は、散布後速やかに通常の湛水状態（水深3～5cm）にして下さい。

■ 散布後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしないで下さい。また、入水は静かに行ってください。

■ 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化および植付作業は丁寧に行って下さい。未熟有機物を使用した場合は、特に丁寧に行って下さい。

■ 以下の条件では薬害を生じるおそれがあるので使用をさけて下さい。

- ① 砂質土壌の水田および漏水田（減水深2cm/日以上）
- ② 軟弱苗を移植した水田
- ③ 極端な浅植えの水田および浮き苗の多い水田

■ 稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので使用しないで下さい。

■ 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合がありますので使用はさけて下さい。

■ 散布田の田面水を他の作物に灌水しないで下さい。

■ 薬害を生じるおそれがあるので、後作物としてなす、たまねぎおよびさやえんどうを栽培しないで下さい。

■ 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用するには十分に注意して下さい。

■ 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにして下さい。

■ 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用して下さい。特に初めて使用する場合は異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

ごくまれに水稲に白化症状が認められる場合があります。しかしながら、その後は正常な葉が伸展してくるので、生育に影響を及ぼすことはほとんどありません。

● 使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ● ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ● 本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。